

製品名: AR α 2B ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab07084**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、 -20°C で保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	

抗原情報

遺伝子名	ADRA2B
別名	ADRA2B; ADRA2L1; ADRA2RL1; Alpha-2B adrenergic receptor; Alpha-2 adrenergic receptor subtype C2; Alpha-2B adrenoreceptor; Alpha-2B adrenoceptor; Alpha-2BAR
遺伝子 ID	151.0
SwissProt ID	P18089
免疫原	抗血清は、ヒトアドレナリン受容体 α -2B 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 161-210

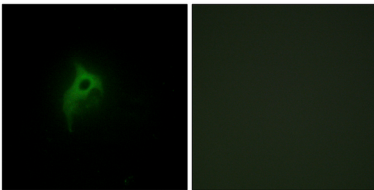
背景

このイントロンのない遺伝子は、7回膜貫通型タンパク質をコードしています。このタンパク質は、交感神経および中枢神経系のアドレナリンニューロンからの神経伝達物質の放出を制御する G タンパク質共役受容体のサブファミリーに属します。[RefSeq 提供、2014年4月]、機能: $\alpha 2$ アドレナリン受容体は、G タンパク質の作用を介して、カテコールアミン誘導性のアデニル酸シクラーゼ阻害を媒介します。この受容体の作動薬の効力の順位は、クロニジン > ノルエピネフリン > エピネフリン = オキシメタゾリン > ドーパミン > p-チラミン = フェニレフリン > セロトニン > p-シネフリン / p-オクトパミンです。拮抗薬の場合、順位はヨヒンビン > クロルプロマジン > フェントラミン > ミアンセリン > スピペロン > プラゾシン > アルプレノロール > プロパノロール > ピンドロールです。多型:位置 451 のまれな多型フレームシフトにより、542 残基のタンパク質が生成されます。類似性:G タンパク質共役受容体 1 ファミリーに属します。、

研究分野

神経活性リガンド-受容体相互作用;

画像データ



アドレナリン受容体 α -2B 抗体を用いた HepG2 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした状態。